

# 11月の園だより

令和5年10月27日

杉並区立西荻北子供園

園長 石床 美穂子

## “やりたい”思いがあふれる毎日を

園長 石床 美穂子

今年も天候に恵まれ、10月14日に「もりのうんどうかい」が行われました。子どもたちは、運動会に向けていろいろな活動を楽しみながら期待感をもって当日を迎えました。保護者の皆様の応援の中、“やりたい”思いがたくさん運動会となりました。保護者の皆様の声援とあたたかい拍手が園庭に響いて、子どもたちの心に届き、満足感や達成感につながったと思います。ありがとうございました。

先にお知らせしたように、西荻北子供園では、11月10日（金）に令和4.5年度 杉並区教育委員会教育課題指定園 研究課題「幼児期に育みたい資質・能力」に関わる研究において、研究主題を「幼児の“やりたい”を支える環境の工夫」とし、研究発表を行います。

研究というと難しい印象をもたれるかもしれませんが、私たちが行っている研究は、子どもたちが、どのようなこころもちで園生活を過ごし、遊びの中で何が育まれているのかを知り、大きくなっていこうとする子どもたちを保育者として、どのように支えていけば、子どもにとって豊かな体験となるのか、どのような環境が必要なのかなどを考察しています。保育者の学びが質の高い保育につながり、子どもたちの遊びが充実し、さまざまな体験を通して資質・能力が育まれていきます。

子どもは、一人ひとり自分の考えをもって行動し、いろいろな人やものに関わっていきます。遊びの始まりはいつも子どもたちの「なんだろう？」「面白そうだな。」という思いからなのです。

“やりたい”という思いから始めた遊びには、楽しさがあり、もっと“やりたい”と子どもが繰り返し遊ぶことで、様々な技能が身に付いていきます。その身に付いた技能を生かしながら試行錯誤し、自分なりのめあてを実現することで、子どもたちは、充実感や達成感を味わうことができます。そして、遊びで感じたわくわくする気持ちが、次の楽しさとなり、自発的な活動につながっていきます。

先に行われた運動会に向けても、“やりたい”姿が見られました。3歳児は、先生と一緒にすることで安心して参加し、学級のみんなと一緒に走ったり、なりきって動いたりする楽しさや面白さを感じていました。4歳児は、先生や友達と一緒に、虫のつもりになって伸び伸びと表現したり、運動遊びを繰り返し楽しんだりし、学級のみんなでする中で自分の力を発揮していました。5歳児は、友達と考えを出し合いながらリズム表現をつくり、学級のみんなつくったストーリーを楽しみながら伸び伸びと動いていきました。また、つなとりやリレーでは、チーム戦で競い合う中で、勝ち負けを繰り返しながら、チームの仲間と作戦を立て、声を掛け合い、力を合わせて粘り強く取り組みました。自分たちで運動会を進めていこうという気持ちをもって、学級の一員として司会をやり遂げることもできました。

どの学年も、日々の遊びの中で、いろいろな運動遊びを経験しわくわくしながら当日を迎えました。保護者の皆様からの運動会の感想には、「日々の遊びの中で楽しんだことの続きにあるからこそ安心して伸び伸びとしていたと思う。」「ずっと笑顔でうれしそうにしていた。」「運動的な発達だけでなく、心の成長も感じました。」などがあり、園の日々の遊びが運動会につながっていることや、子どもたちが主体的に遊んでいることを感じていただけたことをうれしく思いました。

2学期後半も、子どもの主体性を大切に、保育者として子どもたちの興味に共感し、受け止め、時により深く考えられるように言葉をかけ、ものや場などの環境を用意していきます。そして、子どもたちの「やりたい」「たのしい」「もっとこうしよう」という生き生きとした姿がたくさん見られるように、努めてまいります。



## 子どもたちの様子と今月のねらい

### 3歳児 うさぎ組

運動会を終え、うさぎ組の子どもたちは、他学年の運動会ごっこをするのが楽しくなっています。先日は、くま組の子どもたちと向かい合わせになって、年中くま組の踊り『ムシキングサンバ』を教えてもらい一緒に踊ることを楽しみました。年長そう組の表現も自分たちなりに再現し、「ここで嵐が来るんだよ」「みんなで嵐を吹き飛ばすぞ!」と、真似してつもりになって動くことを楽しんでいます。

今月は、引き続き体を動かすことを楽しみつつ、秋の自然に触れたり、自然物を使ったりして遊べるようにしていきます。

#### <今月のねらい>

- 自分で選んだ遊びをしたり、同じ場にいる幼児と関わったりしながら遊ぶ楽しさを味わう。
- 保育者やみんなと一緒に体を動かしたり、触れ合ったりする楽しさを感じる。
- 身近な自然に触れたり、遊びに取り入れたりする。

#### <家庭との連携>

11月1日(水)から、短時間保育児の降園時間が13時30分になります。それに伴い長時間保育児の午睡の時間も変わります(13時30分~15時)。活動時間が長くなり園生活が充実する一方、お子さんの疲れが出てくることと思います。降園後や休日など、休息をしっかり取ることを大切にしていきたいと思います。

### 4歳児 くま組

他学年の運動会の取組をよく見ていたことから、各学年のリズムを一緒に踊ったり、年長組のリレーと一緒にしたりして、運動会ごっこをして遊びました。リレーでは、使う道具を自分たちで準備をしています。一緒に走っている友達より早く走ろうしたり、同じチームの友達に「○○ちゃん頑張って!」と声を掛けたり、一緒にする楽しさを感じながら遊ぶ姿が多くみられるようになってきています。

#### <今月のねらい>

- 自分の思いや考えたこと様々なやり方で表して遊ぶことを楽しむ。
- 自分の思ったことを言葉や動きで表したり、そのことを相手に受け止められる喜びを感じたりしながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。
- 身近な秋の自然に触れたり、遊びや製作などに取り入れたりすることを楽しむ。

#### <家庭との連携>

それぞれの子どもが自信をもち、自分の思いを出すようになってきています。そのことから、友達同士で遊んでいる中で自分の気持ちの出し方の変化などから、トラブルになることもあります。ご家庭でも話を聞いて、見守っていただけたらと思います。何かご心配なことがありましたら、担任にお声かけください。



## 5歳児 そう組

運動会が終わってからも、リズム表現の踊りを踊ったり、くま組と一緒にリレーや玉入れをしたりして運動会の余韻を楽しみました。今月も友達と気持ちや力を合わせて取り組む楽しさを感じられるような経験ができるようにしていきます。また、散歩に出かけ、公園の広い場で思い切り体を動かしたり、秋の自然を遊びに取り入れたりしていきます。

今月は、バス遠足や観劇会などの楽しい行事がたくさんあります。みんなで体験したことを遊びや子ども会につなげていきたいと考えています。

### <今月のねらい>

○友達と思いや考えを出し合い、共通の目的に向かって遊びや活動を進める楽しさを味わう。

○絵本や物語に親しみを持ち、想像を豊かにして聞いたり、表現したりすることを楽しむ。

### <家庭との連携>

日差しのある日は、外で体を動かすと少し汗ばむこともあります。一方、急に気温が低くなる時もあります。お子さんが自分で調節のしやすい衣服を着用して登園するようにしましょう。

## ほしグループ 長時間保育

今月は秋の心地よい風が吹く中、夕保育中に園庭でたくさん遊ぶことができました。

どの学年も運動会をきっかけに、体を動かして遊ぶようになりました。うさぎ組から「♪そらそらあおそらを踊りたいー！」という声上がり音楽を流すとにこにこ笑顔で踊り始めました。それをきっかけにくま・そう組の子どもたちも思わず体が動き出し始めました。一緒に踊った楽しさからもっと踊りたい気持ちになり、子どもたちのリクエストでくま組の♪ムシキングサンバを長時間保育児みんなで踊りました。自分の学年だけでなく、他学年の踊りも大好きになりました。また、そう組に教えてもらいながら、くま組も一緒に繰り返しリレーをしました。うさぎ組の子どもたちは保育者や同じクラスの幼児と追いかけて楽しんでいました。

10月第4週目よりそう組は午睡をせずに、室内で休息の時間としてゆったりと遊んで過ごしています。体が慣れるまでは疲れることが予想されますので一人ひとりの体調に留意しながら過ごしていきます。ご家庭でも体調管理をお願いします。

## 教育調査について

子供園の教育・保育活動の状況について保護者への教育調査を行うことにより、実情に応じた支援やその組織的・継続的な改善を図り、教育・保育の質を保証するとともに、更なる向上を図ることを目的としています。ご協力をよろしくお願いいたします。

<調査の実施期間> 令和5年11月10日から令和6年1月10日まで

<保護者への配信日時> 令和5年11月10日（金） 午後5時

一斉メール配信システムで配信し、回答されたものを教育委員会が直接集計します。